

# 家庭学習について困ったときは？

## ●担任の先生と連絡をとりましょう

家庭学習について困ったことやわからないことがあるときは、まずは担任の先生に相談してみましょう。お子さんにあった学習内容や取り組み方について、家庭と学校とが一緒に考え、協力しながら、子どもの進んで学ぶ力を共に育てます。

## ●図書館を利用しましょう

家庭学習の中で調べたいことが出てきたときは、図書館へ出かけてみましょう。図書館では、レファレンスサービスといった、調べ学習のお手伝いもしています。

新宿区立図書館のホームページには子どもページがあり、「このほんしってる？」で1~3年生、4~6年生のお子さんにすすめる本の紹介もしています。

読書をすることで、学習の基礎である読解力や思考力の向上が期待できます。豊かな心を育んだり、生き方について学んだりすることもできます。図書館で借りた本の感想をメモしたり、家族で同じ本を読んで感想を共有することもおすすめです。

# 子育て・教育のことで困ったときは？

## 子どもと家庭の総合相談

子育ての悩み、困っていること、わからないことなどについて、スタッフが一緒に考え、アドバイスします（電話・来所）。

●子ども総合センター	(新宿 7-3-29)	相談専用電話	3232-0675
●信濃町子ども家庭支援センター	(信濃町 20)	相談専用電話	3357-6855
●榎町子ども家庭支援センター	(榎町 36)	相談専用電話	3269-7345
●中落合子ども家庭支援センター	(中落合 2-7-24)	相談専用電話	3952-7752
●北新宿子ども家庭支援センター	(北新宿 3-20-2)	相談専用電話	3362-4152

### 受付時間

●子ども総合センター	月～土曜日	午前8時30分～午後7時
	日曜・祝日	午前8時30分～午後5時（電話相談のみ） （年末年始は休み）
●各子ども家庭支援センター	月～金曜日	午前8時30分～午後5時
	土曜日	午前9時30分～午後6時（来所相談のみ） （日曜・祝日・年末年始は休み）

## 教育相談

子どもの性格・行動・心身の健康・発達・学業・いじめなど、教育上の問題や悩みごとの相談に応じます。

### ●教育相談室（大久保 3-1-2 教育センター内）

面接相談	☎3232-3071【予約制】
受付時間	月～金曜日 午前9時～午後5時30分（祝日・年末年始は休み）
相談時間	月～金曜日 午前9時～午後6時（祝日・年末年始は休み）
電話相談	☎3232-2711
相談時間	月～金曜日 午前9時～午後5時（祝日・年末年始は休み）

# 小学生保護者向け

# 家庭学習のすすめ



## 保護者の皆様へ

### 家庭学習で大切にしたいこと

「家庭学習のすすめ」は、子どもの生きる力を育むために、家庭における保護者の子どもへのかかわり方についてまとめています。子どもの学習に向かう姿勢は、保護者の子どもへのかかわり方で変わってきます。

学校での授業とともに、家庭においても学習への関心・意欲を高め、学習習慣を定着させることを大切にしましょう。

また、漢字や計算など、学校で習った内容を理解し定着させるために、家庭でタブレット端末等を活用し繰り返し学習しましょう。

家庭学習の際にタブレット端末を有効活用するためには、家庭での使用の仕方について子どもと十分話し合うことも大切です。



# 「勉強しなさい」と言う前に



## どうして勉強してほしいのか考えてみましょう

家庭では子どもに対して「勉強しなさい」とつい言ってしまいがちですが、それはなぜでしょうか。

そこには、子どもに勉強や生活を通して身に付けてほしいと思う力や、成長していく過程で特に大事にしてほしい力があるからではないでしょうか。

どんな力を身に付けてほしいのか、そのためにどんなことを学んでほしいのか、「勉強しなさい」という言葉の奥にある保護者としての願いを改めて見つめ直し、子どもの成長を見守っていきましょう。



### 家庭教育ワークシートのご紹介

子どもとのかかわり方について、具体的に考えることのできる「家庭教育ワークシート」を学校を通して保護者へお配りしています。  
※区ホームページにも公開していますので、あわせてご活用ください。



区ホームページ  
冊子閲覧・ダウンロードは  
こちらから

# タブレット端末を有効活用するために



区では、子どもたちが自ら調べ考え、まとめる力を伸ばしたり他者と学び合ったり、自分に合った学び方を見付けたりして、より深い学びに結びつけることができるよう、一人1台のタブレット端末を貸与しています。家庭では下記のことにご気を付けながら、タブレット端末を有効活用しましょう。

## 家庭での使用の仕方について子どもとよく話しましょう。

- 健康面を考慮し、例えば、30分間使用したら目を休め、また、画面から30cm以上離して使用しましょう。
- インターネット利用の約束を確認しましょう。
- 少なくとも、寝る1時間前からは利用を控えましょう。
- 極端に明るかったり暗かったりすることがないよう、部屋の明るさを調整しましょう。
- 画面の角度を調整し、照明が画面に映りこまないようにしましょう。
- 意識してまばたきの回数を増やし、目の乾燥を防ぎましょう。

### ▼不適切な使用の例

- 貸与されたタブレット端末を、学習に関係ない目的で使用すること。
- 相手を傷つけたり、不快にさせたりする情報発信をすること。
- 公の場でふさわしくない言葉遣いをする。
- 夜遅い時間など、長時間にわたり動画等を視聴すること。

コンピュータ上の履歴は全て記録されています。貸与されたタブレット端末は、学習のために使うことを家庭でも子どもに伝えましょう。

# ご家庭でのサポートをお願いします

～お家の方はお子さんの最大のサポーターです～

## 1・2年生 めあて 学習への興味・関心を高め、学習習慣を身に付ける

### ～こんな時期です～

自分で学習内容や方法を決めることはまだ難しく、家庭のサポートが欠かせません。宿題はできるだけ一緒に取り組み、がんばりを褒めたり、励ましたりすることで、子どものやる気を伸ばしましょう。

### ご家庭でのサポート

- ★**基本的な生活習慣を身に付けさせましょう**  
十分な睡眠を確保すること、朝食を取ることは、集中して学習に取り組むための基盤となります。
- ★**家庭での言葉掛けを工夫してみましょう**  
子どもの主体的な学習への取り組みには、お家の方の言葉掛けや励ましが手助けとなります。また、家庭で挨拶を交わすことも大切です。

## 3・4年生 めあて 計画を立て、見通しをもって学習に取り組む力を身に付ける

### ～こんな時期です～

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなりますが、家庭での学習習慣をしっかりと身に付ける上での手助けはまだ必要です。  
また、学習に少しずつ個人差が出てくる頃ですが、兄弟姉妹や友だちと成長を比べず、その子のがんばりを認め、励ましの言葉掛けをしましょう。

### ご家庭でのサポート

- ★**テレビやゲームの時間のルールを決めましょう**  
時間を意識させ、けじめのある生活を送ることが、自立心や学習への集中力を高めます。特に、テレビやゲームの時間など、子どもと一緒に家族でルールを考えて決めましょう。決めたら、実行できるように応援しましょう。
- ★**学習意欲を高めるかかわりをもちましょう**  
子どもとのコミュニケーションを積極的にとりましょう。日常の会話やふれあいの中で、子どもがどのようなことに関心をもっているのかが分かります。また、子どもと一緒に家庭学習の計画を立て、努力できたことは褒めるようにしましょう。

## 5・6年生 めあて 自らの学習を振り返りながら、自分で課題を発見し、解決する力を身に付ける

### ～こんな時期です～

発達の個人差が大きくなり、自分を客観的に見たり、友だちと比べたりするようになります。また、考える力も成長し、ときには大人への反抗も見られますが、自分が大切にされているかなど、大人からの評価も気にするころです。  
自主性を尊重するとともに、意欲や興味・関心をもち続けられるような働き掛けをしましょう。

### ご家庭でのサポート

- ★**自主的に学ぶ力を養いましょう**  
子どもの考えや疑問に向き合い、一緒に考えましょう。自分でできることは自分で挑戦・解決させるようにすることで、子どもは調べ方や問題解決の方法を習得していきます。
- ★**社会へ目を向けるきっかけをつくりましょう**  
学校では社会や世界に目を向けた学習をします。一緒にニュースを見たり、新聞を読んだりして、実社会へ目を向けるきっかけ作りをしましょう。また、博物館や美術館に出かけるなど、体験を大切にしましょう。